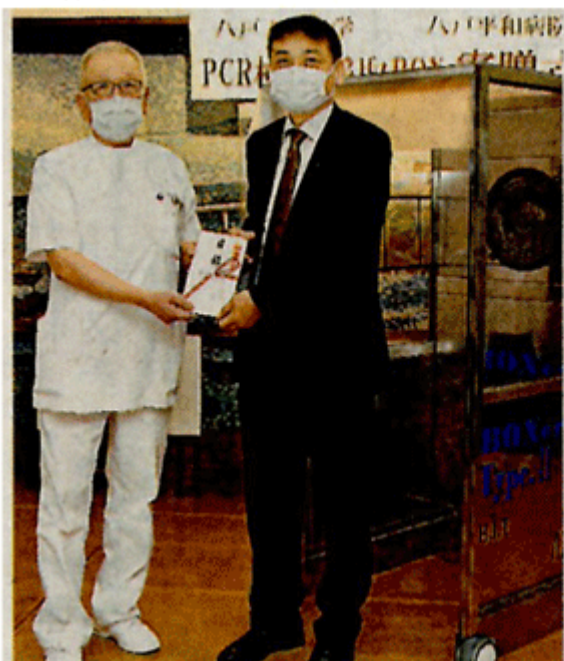


## 東奥日報

2023年(令和5年)5月10日(水曜日) (16)

【八戸】八工大が八戸平和病院にPCR検体採取ボックス寄贈 八戸工業大学は8日、新型コロナウイルス感染症患者らの診療に役立ててもらおうと、同大が開発したPCR検体採取ボックス「BOXer Type 2」を八戸市の八戸平和病院に寄贈した。

同病院はコロナ禍以降、発熱患者らを隔離して検体採取ができる同大開発の陰圧ボックス6台を導入し、医療スタッフや他の患者への感染防止に役立ててきた。



同病院に隣接する介護老人保健施設ナーシングホーム・オリーブで贈呈式が行われ、同大の大野和

弘事務部長が同病院の濱田和一郎院長に目録を手渡した＝写真。濱田院長は新型コロナの感染症法の位置付けが同日から「5類」に移行したことに触れながら「コロナ第9波などが発生しても、診療する側がストレスなく患者に対応できる装置はこれからも重要。活用させていただく」と感謝の言葉を述べた。

(千葉真由美)

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」